

地域再生計画

- 1 地域再生計画の名称
仁淀ブルーを活用したDMO観光地域づくり
- 2 地域再生計画の作成主体の名称
土佐市並びに高知県吾川郡いの町及び仁淀川町並びに高岡郡佐川町、越知町及び日高村
- 3 地域再生計画の区域
土佐市並びに高知県吾川郡いの町及び仁淀川町並びに高岡郡佐川町、越知町及び日高村の全域
- 4 地域再生計画の目標

4-1 地方創生の実現における構造的な課題

観光振興による交流人口の拡大はもとより、エリア内の農林水産事業者や地域住民との連携による体験プログラム開発や民泊事業者の育成、さらには、地域特産物や土産品の開発・磨き上げなど、仁淀川エリアの観光地域づくりを行う日本版DMOとしての役割を担うとともに、「～奇跡の清流～仁淀川」のブランド力の向上による地域振興を図る。

4-2 地方創生として目指す将来像

仁淀川は、県庁所在地から車で30分のアクセスの良い場所にあるうえ、国土交通省発表の全国水質ランキングで4年連続第1位となった奇跡の清流として、近年、多くの観光客が訪れているところである。また、その透明度のおかげでカヌーやラフティングなどのアクティビティの他、釣りやキャンプ、川遊びなどの水辺利用率も常に全国トップクラスとなっている。

こうした自然景観やアウトドア体験に加えて、流域には多くの史跡や文化財が点在、美しい渓谷や伝統的工芸品なども有しており、流域の6市町村（土佐市、いの町、仁淀川町、佐川町、越知町及び日高村）がもつそれぞれの素材を活かした観光客の誘致等に各市町村が取り組んできたところである。

仁淀ブルー観光協議会は、これらの観光メニュー素材を組み合わせ、広域的な着地型旅行商品の組み立てや企画開発を行うために、流域の6市町村と各地域観光協会が中心となって任意団体の「仁淀川地域観光協議会」として平成

22年に設立、平成27年12月法人化、平成28年12月に旅行業法に基づく旅行業を取得し、観光客誘致や総合案内、人材育成に取り組んでいる。

今回のKPI指標にも設定している「主要観光施設の入込客数」「主要宿泊施設の宿泊者数」「仁淀ブルー観光協議会関連ツアー送客数」が毎年増加していることから、「仁淀ブルー」の認知度の向上、エリア内への誘客拡大は一定進んできたものと認められる。

一方で、「仁淀ブルー」ブランドを確立していくうえでは、同協議会の取組がまだ緒に就いたばかりであることやワンストップ窓口機能を維持していくための財源確保など、組織基盤の強化が必要不可欠となっている。

また、今後、「食」「体験」「宿泊」といった観光コンテンツをさらに充実させて、更なる誘客やインバウンド対応を進めていくうえでも、特産物や加工品の開発、民泊事業者の拡大など、地域の受入体制づくりや人材育成、二次交通の整備などの取組みも強化していく必要がある。

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)
主要観光施設の入込客数(人)	243,334	26,767	29,711	17,989
主要宿泊施設の宿泊者数(人)	67,047	6,705	7,375	3,245
協議会関連ツアー送客数(人)	4,400	484	537	326

	平成32年度 増加分 (4年目)	平成33年度 増加分 (5年目)	KPI増加分の累計
主要観光施設の入込客数(人)	19,068	20,212	113,747
主要宿泊施設の宿泊者数(人)	3,375	3,510	24,210
協議会関連ツアー送客数(人)	344	366	2,057

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

魅力ある着地型旅行商品の開発や誘客プロモーション、地域観光情報の発信、ワンストップ窓口の充実、インバウンド対応などの事業を展開するにあわせ、日本版DMO取得に向けた仕組みづくりを進めていくことで、県外、さらには国外からの観光客を呼び込み、観光による仁淀川地域の地方創生実現を目指す。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生推進交付金（内閣府）：【A3007】

① 事業主体

土佐市並びに高知県吾川郡いの町及び仁淀川町並びに高岡郡佐川町、越知町及び日高村

② 事業の名称：

仁淀ブルーを活用したDMO観光地域づくりの連携事業

③ 事業の内容

今回の事業は、仁淀ブルー観光協議会が実施主体となり、連携市町村や県、各観光協会、民間事業者や地元住民など多様な関係者と連携しながら、仁淀川エリアへの交流人口の拡大ならびに地域振興への寄与を目的に取り組みを進めるものである。

具体的には、魅力ある着地型旅行商品の開発や誘客プロモーション・セールス、地域観光情報の収集・情報発信、現地受入手配やアテンド等ワンストップ窓口の充実、インバウンド対応などの事業を展開する。

あわせて、日本版DMO取得に向けた多様な関係者の合意形成、各種データ等の継続的な収集・分析、明確なコンセプトに基づいた戦略の策定、KPIの設定・PDCAサイクルの確立、観光関連事業と戦略の整合性に関する調整・仕組みづくり、プロモーションと着地型旅行商品の開発や販売などの計画的な取り組みを進めていくことで、県外、さらには国外からの観光客を呼び込み、観光による仁淀川地域の地方創生実現を目指すものである。

④ 事業が先導的であると認められる理由

【自立性】

県及び市町村からの補助金を財源としながら、「奇跡の清流 仁淀川」のブランド化によるエリア内各地への誘客、交流人口の拡大を図るとともに、協議会自身の活動を通じて、賛助会員会費や旅行業取扱手数料等の自主財源の確保に努める。

【官民協働】

情報発信事業、セールス・販売促進事業では、当協議会と民間事業者の持つ観光情報を一元化するなど、当協議会がエリア内でのポータル機能を発揮して、県外や国外からの誘客活動につなげる。

地域連携企画調整事業、物産観光PR事業では、連携イベントの開催など市町村間の連携を図ることはもとより、商工会や民間事業者のサポート役となり、当協議会による観光PRだけでなく、飲食・物販セールスなど、仁淀川エリア全体での経済波及効果を目指す。

【政策間連携】

仁淀川エリアの持つ「自然」「歴史」「体験」「食」を活かした観光分野の取組みを進める中で、ガイドやインストラクターなどの雇用の場の確保、さらには移住促進の実現を目指している。

また、新たな観光メニューを開発する中では、農業・林業・水産業といった一次産業、ものづくりや加工など二次産業とも連携して、新たな誘客に向けた体験活動などを拡大していく。

【地域間連携】

ブルー観光協議会の事務所移転により、新たに開設した仁淀ブルースクエア（JR西佐川駅）をエリア内の情報発信拠点と位置付け、各市町村の観光情報を一元的に収集、観光客に向けた効果的な情報発信を行う。あわせて、実際に来訪された観光客や来訪されようとしている観光客に対するワンストップ窓口機能を提供する。

【その他の先導性】

特になし

⑤ 重要業績評価指標（KPI）及び目標年月

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)
主要観光施設の入 込客数(人)	243,334	26,767	29,711	17,989
主要宿泊施設の宿 泊者数(人)	67,047	6,705	7,375	3,245
協議会関連ツアー 送客数(人)	4,400	484	537	326

	平成32年度 増加分 (4年目)	平成33年度 増加分 (5年目)	KPI増加分の累 計
主要観光施設の入 込客数(人)	19,068	20,212	113,747
主要宿泊施設の宿 泊者数(人)	3,375	3,510	24,210
協議会関連ツアー 送客数(人)	344	366	2,057

⑥ 評価の方法、時期及び体制

【検証方法】

- ・高知県産業振興計画フォローアップ会議（仁淀川地域）での検証（9月、3月）
- ・仁淀ブルー観光協議会理事会での検証（随時）
- ・各市町村地方創生会議等での検証

【外部組織の参画者】

各市町村で開催される地方創生会議を構成する有識者や議会での意見聴取を実施

【検証結果の公表の方法】

各市町村のホームページ及び仁淀ブルー観光協議会で公表

⑦ 交付対象事業に要する経費

・法第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】

総事業費 138,500千円

⑧ 事業実施期間

地域再生計画認定の日から平成34年3月31日（5ヵ年度）

⑨ その他必要な事項

特になし

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

該当なし

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成34年3月31日

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況にかかる評価の手法

【検証方法】

・高知県産業振興計画フォローアップ会議（仁淀川地域）での検証
（9月、3月）

・仁淀ブルー観光協議会理事会での検証（随時）

・各市町村まち・ひと・しごと地方創生会議での検証

【外部組織の参画者】

各市町村で開催される地方創生会議を構成する有識者や議会での
意見聴取を実施

7-2 目標の達成状況にかかる評価の時期及び評価を行う内容

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)
主要観光施設の入 込客数(人)	243,334	26,767	29,711	17,989
主要宿泊施設の宿 泊者数(人)	67,047	6,705	7,375	3,245
協議会関連ツアー 送客数(人)	4,400	484	537	326

	平成32年度 増加分 (4年目)	平成33年度 増加分 (5年目)	KPI増加分の累 計
主要観光施設の入 込客数(人)	19,068	20,212	113,747
主要宿泊施設の宿 泊者数(人)	3,375	3,510	24,210
協議会関連ツアー 送客数(人)	344	366	2,057

7-3 目標の達成状況にかかる評価の公表の手法

毎年度、各市町村のホームページ及び仁淀ブルー観光協議会で公表